

B - DASHプロジェクト（下水道革新的技術実証事業）の実施について - 低コスト固形燃料化実証試験 -

平成 24 年 3 月 15 日に、松山市は JFE エンジニアリング(株)と共同で、国土交通省が進める「下水道事業における大幅なコスト縮減や再生可能エネルギー創出」等を目的とした B DASH プロジェクト(Breakthrough by Dynamic Approach in Sewage High Technology Project = 下水道革新的技術実証事業) へ事業の応募を行っておりましたが、3 月 29 日に同省より、下水道革新的技術実証事業評価委員会による審査を経て事業が採用されたとの通知がありましたので、ご報告いたします。

1 . 事業概要

西部浄化センター内に、既設の污泥焼却炉の廃熱を利用した污泥乾燥機を設置し、下水污泥の固形燃料を製造するとともに、污泥焼却炉の補助燃料として利用を行い、燃焼効果を確認します。

2 . 事業効果等

(1) 建設費の全額国庫負担

実証試験に用いる污泥乾燥機については、100%国庫負担で JFE が建設を行い、市は建設場所を提供します。

施設の所有者は国土交通省（国土技術政策総合研究所）となります。

(2) 污泥処理にかかる維持管理経費の大幅な低減

製造される固形燃料を污泥焼却炉の補助燃料とすることで、現在使用している重油の量を大幅に削減することが可能となります。

(3) 先進的な環境技術への貢献・地球温暖化防止対策

今回の事業は、先進的な環境技術の開発に貢献するものです。

また、污泥焼却に用いる重油の使用量が大幅に削減されることから、地球温暖化ガスの減量化（CO₂の削減見込：年間約 1,800 t）が図られます。

3. 事業イメージ図（1日あたりの処理状況）

